

病因と病態

オーガナイザー

病理学講座 教授 江 幡 正 悟

M-03-02-L

教 員 名

病理学講座

教授 江 幡 正 悟

講師 及 川 恒 輔

講師 中 西 雅 子

I 授業の目的

様々な疾患の成因 (Etiology) ・発生機序 (Pathogenesis) を学び、これに基づいて個体に現れる変化から病態生理 (機能の異常) と病変 (形態の異常) の関連を理解する。そして疾患を診断するための基礎的な観察方法を身につける。

II 到達目標

1. 病理学を学ぶ意義について述べる。
2. 形態学的な変化を表現する病理学的専門用語を正しく用いる。
3. 各疾病の成り立ち・病因について、形態学的変化と関連づけて述べる。
4. 疾病の場としての人体各臓器の基本構造とその特徴を、疾患と関連付けて説明する。
5. 疾患の特色より症状、症候との関連を説明する。
6. 病気の診断に至る過程を組み立てる。
7. 病気の自然経過と治療による修飾が判別する。
8. 病理総論的、臓器横断的な疾患の分類法について説明する。
9. 疾患の病理学的特色とその成り立ちを説明する。
10. 臨床医学における病理診断の役割と位置付けを説明する。
11. 光学顕微鏡を使用して、組織標本を観察する。
12. 組織標本を病因と対比し、病変の成り立ちを説明する。
13. 病変の組織細胞学的特色について述べる。
14. 細胞の形態学的変化、特色とその機能の変化について述べる。
15. 代表的な分子病理学的方法について説明する。
16. 各論的疾患分類について説明する。
17. それぞれの臓器における代表的疾患を挙げる。
18. 病理学分野の学術図書より学術情報を得て、その知識を整理する。

III 教育内容

講義日程表を参照

IV 学習および教育方法

1. 学習：総論では、病変の成立機序や種類から疾患を質的に分類し、臓器横断的な病変の成り立ちの原則を学ぶ。各論では、総論の理解に即して、各臓器の具体的な病変を取り扱う。ただし病理学で扱う内容は広範であるため、講義や実習で解説しなかった内容は、「標準病理学」「カラーアトラス 病理組織の見方と鑑別診断」「病理コア画像」等、下記の推薦する参考書等を用いて自ら知識を深めることが必要である。なお、学習状況に応じて、講義・実習以外のレポート課題、小テスト、口頭試問などを課すことがある。

講義日程表

No.	月日	曜日	時限	項 目	担 当 科	担当
1	R5.2.27	(月)	4	序論	病理学	江幡
2	R5.2.27	(月)	5	序論	病理学	江幡
3	R5.2.28	(火)	4	総論：細胞障害	病理学	及川
4	R5.2.28	(火)	5	総論：細胞障害	病理学	及川
5	R5.3.2	(木)	1	総論：炎症	病理学	中西
6	R5.3.2	(木)	2	総論：炎症	病理学	中西
7	R5.3.2	(木)	3	総論：炎症	病理学	中西
8	R5.3.6	(月)	4	総論：免疫	病理学	中西
9	R5.3.6	(月)	5	総論：免疫	病理学	中西
10	R5.3.7	(火)	4	総論：遺伝性疾患と先天異常	病理学	及川
11	R5.3.7	(火)	5	総論：遺伝性疾患と先天異常	病理学	及川
12	R5.3.9	(木)	1	総論：代謝障害	病理学	及川
13	R5.3.9	(木)	2	総論：代謝障害	病理学	及川
14	R5.3.9	(木)	3	病理学実習 ①	病理学	病理学講座教員
15	R5.4.3	(月)	4	総論：感染症	病理学	中西
16	R5.4.3	(月)	5	総論：感染症	病理学	中西
17	R5.4.4	(火)	5	病理学実習 ②	病理学	病理学講座教員
18	R5.4.6	(木)	1	総論：循環障害	病理学	江幡
19	R5.4.6	(木)	2	総論：循環障害	病理学	江幡
20	R5.4.6	(木)	3	総論：循環障害	病理学	江幡
21	R5.4.10	(月)	4	総論：腫瘍	病理学	江幡
22	R5.4.10	(月)	5	総論：腫瘍	病理学	江幡
23	R5.4.13	(木)	1	総論：腫瘍	病理学	江幡
24	R5.4.13	(木)	2	総論：腫瘍	病理学	江幡
25	R5.4.13	(木)	3	病理学実習 ③	病理学	病理学講座教員
26	R5.4.17	(月)	4	各論：循環器	病理学	江幡

27	R5.4.17	(月)	5	各論：循環器	病理学	江幡
28	R5.4.20	(木)	1	各論：消化管	病理学	中西
29	R5.4.20	(木)	2	各論：消化管	病理学	中西
30	R5.4.20	(木)	3	各論：消化管	病理学	中西
31	R5.4.24	(月)	4	各論：循環器	病理学	江幡
32	R5.4.24	(月)	5	各論：肝・胆・膵	病理学	中西
33	R5.4.27	(木)	2	各論：肝・胆・膵	病理学	中西
34	R5.4.27	(木)	3	各論：肝・胆・膵	病理学	中西
35	R5.5.9	(火)	5	病理学実習 ④	病理学	病理学講座教員
36	R5.5.11	(木)	1	各論：脳・神経	病理学	中西
37	R5.5.11	(木)	2	各論：脳・神経	病理学	中西
38	R5.5.11	(木)	3	各論：脳・神経	病理学	中西
39	R5.5.16	(火)	5	病理学実習 ⑤	病理学	病理学講座教員
40	R5.5.18	(木)	1	各論：腎臓	病理学	江幡
41	R5.5.18	(木)	2	各論：腎臓	病理学	江幡
42	R5.5.18	(木)	3	各論：腎臓	病理学	江幡
43	R5.5.25	(木)	1	各論：血液・造血器・リンパ節	病理学	江幡
44	R5.5.25	(木)	2	各論：血液・造血器・リンパ節	病理学	江幡
45	R5.5.25	(木)	3	各論：血液・造血器・リンパ節	病理学	江幡
46	R5.6.1	(木)	1	各論：呼吸器	病理学	江幡
47	R5.6.1	(木)	2	各論：呼吸器	病理学	江幡
48	R5.6.1	(木)	3	各論：呼吸器	病理学	江幡
49	R5.6.8	(木)	1	各論：泌尿器・男性生殖器	病理学	江幡
50	R5.6.8	(木)	2	各論：泌尿器・男性生殖器	病理学	江幡
51	R5.6.8	(木)	3	病理学実習 ⑥	病理学	病理学講座教員
52	R5.6.12	(月)	4	各論：骨・軟部組織	病理学	江幡
53	R5.6.12	(月)	5	各論：骨・軟部組織	病理学	江幡
54	R5.6.15	(木)	1	各論：乳腺・女性生殖器	病理学	中西

55	R5.6.15	(木)	2	各論：乳腺・女性生殖器	病理学	中西
56	R5.6.15	(木)	3	各論：乳腺・女性生殖器	病理学	中西
57	R5.6.22	(木)	1	各論：皮膚	病理学	江幡
58	R5.6.22	(木)	2	各論：皮膚	病理学	江幡
59	R5.6.22	(木)	3	病理学実習 ⑦	病理学	病理学講座教員
60	R5.6.26	(月)	4	各論：内分泌	病理学	江幡
61	R5.6.26	(月)	5	各論：内分泌	病理学	江幡